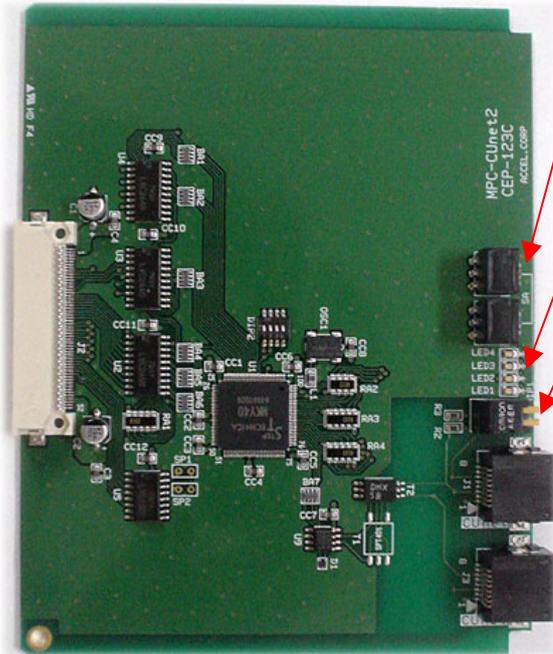


MPC-CUnet2

ネットワークボード

MPC-CUnet2 は MPC-2000/2100 システムで CUnet(ステップテクニカ製)に対応するネットワークボードです。CUnet は 512byte のメモリをリアルタイム(2.5msec 以内)で共有することが出来ます。また、メール通信機能も備えているため、ネットワーク下でさまざまなデータを交換させることも出来ます。

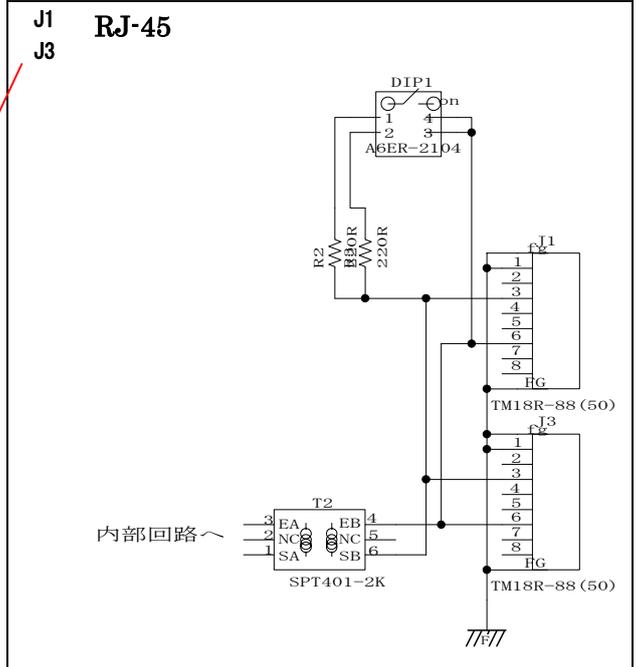


DSW1	SA 番号上位
DSW2	SA 番号下位

例:SA=16 → DSW1=1 DSW2=6

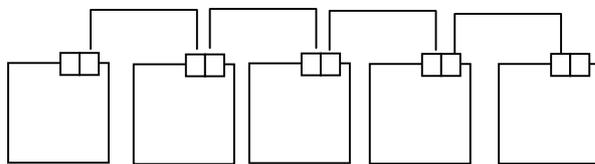
LED4	MON リンク成立表示	緑
LED3	/STB サイクル開始通知	緑
LED2	/MCARE メンバー減少表示	赤
LED1	/LCARE リンク切れ表示	赤

DIP1 ターミネータ設定 (Down で ON)



*通信ラインはパルストランス (T2) で内部回路と絶縁されています。

■ カスケード接続と、終端処理



終端 ON - 終端 OFF - 終端 OFF - 終端 OFF - 終端 ON

CUnet の接続には、市販のイーサネットケーブル (RJ-45) を流用します。ノイズの多い環境では、シールド処理の堅牢な工業用のイーサネットケーブルを使用してください。接続はカスケード接続として、両端に配置される CUnet で終端処理をしてください。ほかは、すべて終端 OFF とします。CUnet は RS-485 に準拠していますので、終端処理は 100 Ω となり、ターミネータ用 DIP のレバーは両方とも ON としますが、ケーブル状態などで、片方のみ ON のほうがよい場合があります。

内部電源	DC5V (CPU ボードより供給)	120mA
------	--------------------	-------

■ コマンド対応

MPC-2000/2100 でのコマンド・関数対応は以下のとおりです。詳細はコマンドリファレンス参照

CUNET	初期化コマンド (SA の割り当て)
CU_POST	メール対応コマンド
MKY	CunetIC 状態取得
POST	メール出力
SA	SA 番号, IN/OUT バンク
SA_B	SA 番号, ON/OFF 番号
IN () /OUT/ON/OFF/SW ()	2000~にて CUnet 上のメモリ I/O 操作

* CUnet は(株)ステップテクニカの登録商標です。